



国労東京支部

2023年7月12日

第46号

国鉄労働組合東京支部機関紙

発行責任者 松田 恭明

編集責任者 佐藤 賢一

組織対策交流会アンケート特集

総力をあげて組織の強化・拡大を！

1・講演、報告についての感想

- 国労（支部）の将来展望を見据えての組織の在り方、それに合わせた運動の取り組み方等、議論しなければならない転換期を迎えている。今日までの成果や教訓・経験を討論し次世代を大事に育成しつつ運動をどう残すのが重要課題と感じた。
- 今後、国鉄世代がいなくなり、組織の状況が分かりやすかった。こういう状況でも加入している職場もあり、加入へ向けての運動が必要。離職者が多いのは今の会社に賃金面・労働条件含め魅力がない。
- 国労運動の継承・発展に向けて、すべて組織拡大しかないと思います。
- みなさん大変素晴らしい。講演・報告とても勉強になりありがとうございました。
- 今後、国労運動の継承・発展について・・・現状の組合員の人員構成を見て50歳以上が圧倒的に多く今後の展望が絶望的である。組織拡大の秘策はないのでしょうか？
- 組織の現状を知る上で大変重要だと考えています。一歩前へ行動を起こしていく事が今、求められています。
- どこでも同じような問題点になっている。
- 今の組合員数、現状を改めて分かり大変ためになりました。
- 国労が少ない中で一人ひとりの活動家が苦勞しながら国労運動を継承している。
- 若年退職について・・・私の駅でも1名いきなり退職（病気もあり）しました。
JRに興味がないのか？今の日本に興味・魅力がないのか？

2・分散交流会に参加をしての感想（良かった点・悪かった点）

- 今後の国労運動を担う若い参加者の声・思いを聞けて良かった。青年労働者の「意」を最大限尊重しながら、今後の国労運動に取り組み、青年活動を支援する事。
- 今後の分会運動再編をどのようにするのか？最終的には地域だと思うが頑張れるうちは、系統別が良いのでは？議論が必要。
ニュースの配布、今でもエルダーには配布できていない。せめて月1でも書状を郵送すべき。誰がやるのか？支部・分会？
- 支部でレクを開催して欲しい。きっかけを作りたい。
- 自分の職場と違った色々な意見を聞くことが出来たので今後の仕事にも役立つと思いました。
- 自分は通信ですが、駅関係の仕事（業務）について自分の想像を絶する過酷な環境だということを知りました。過去の団交で要求が少しずつ実現しているなど諦めずに頑張っていることを知りました。
- 仲間との交流は大変、重要だと考えます。
- 少人数での議論で各項目に各人の発言が出来たのは良かった。

- 普段聞けない自動車・SCSP・JETT（ジェット）の話が聞けて色々幅が広がった。
- 参加者がそれぞれ努力しながら仲間づくり・団結づくりをしている。
- いろいろな職場の話が聞けて良かった。

3・組織拡大に対して一番今の国労に必要なものは何だと思いますか

- JESSのプロパー（青年労働者）社員やエルダー労働者の格差是正に向け、また同一労働・同一賃金の視点にたち不利益や格差是正に取り組むことから労働組合の必要性を理解してもらう。
- 皆、職場での労働強化や競争等、困難と苦しみを抱えて頑張っている。話し合う場、寄り添う場をつくり、労働組合の世話役活動・役割を発揮する事。
- 若い人とのつきあい、相談相手になることが必要だと思う。分会の活性化・エルダーになり難くなるが集まる必要がある。
- きっかけ、つながりなど、条件がそろわないと難しいと思います。
- 若い後輩たちにもっと沢山、話を出来る環境を作って仲間を増やしていきたいと思います。
- 組合員として年をとり、その活動にも陰りが始まりました。しかし、若手社員はその姿をよく見ているようです。きちんとした運動や取り組みをやるべきです。
- みんなで考え、行動へ！
- 未加入者に対して労働組合の必要性を知らせる。
- 今まで経験してきた国労運動を職場で実践して若い人たちに伝えていく事。
- 会社と仲良くやるのではなく、なぜ闘う必要があるのか？を問うと若い奴は嫌がるので難しい。
若い仲間は政党が好きではないので政党を出さない方がいいのかな。年配の一部の方は政党で説教したことがあるので・・・

4・全体を通しての感想、支部への意見・要望など

- もう少し人を集めてもらえたらいいと思う。50名位は参加するのかなと思いました。
自分も組織拡大は出来ていませんが・・・このままで拡大が出来るのかなと思います。
若い方々だけではなく、同年代、国鉄採用、エルダー誰でもいいから拡大していかないと、と思います。
数年前にはアクセスの方にも新聞配布をしていました。
組合に嫌気を出さないようにしないと拡大は厳しいかなと思います。エルダーになり抜けた方々にも再度加入の呼びかけも必要だと思います。
- 参加者が思ったより少ない様に感じる。不参加の分会も多いのか？分会再編等、全体で議論するチャンスだと思うのですが・・・
- 自分がもっと積極的に頑張っていけないと思いました。
- 人数が少なかったのが残念でした。
- エルダーが多くなり支部へ頼ることが多くなると思うが頑張してほしい。
- 少ない参加者でしたが交流が出来て良かったです。会社の合理化・要員不足に対する労働組合の構えが見えない。
- 少人数組合としての運動の取り組み、闘い方を常に模索し追及すること。
会社と対峙する事案には遠慮なく第三者機関の活用も検討する事。共闘の仲間との連帯を大事にする事。
- 6/22、組織再編に伴い、過半数代表者選挙が再び行われると思います。国労からの立候補は無いと思います。他労組に投票するか否か悩んでいます。社友会よりも組合員がやる方が良いに決まっていますがA労組の流れを汲んだ他労組にはどうも投票する気になれません。

ご協力ありがとうございました。出された意見を再度執行委員会で議論し、周知していきます。